

研究分野		授業科目名		科目責任者
組織培養・免疫系分野		リウマチ分子病態解析学研究		守田 吉孝
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
自己免疫疾患やリウマチ性疾患に関連して、独創性の高い研究計画を立案し、適切な実験方法を用いて、新たな科学的知見を見だし、最終的に論文として結果を公表する能力を修得する。				
授業到達目標				
(1) 研究の背景知識について、文献検索を行い、的確に情報収集ができる。 (2) 分子生物学、生化学、細胞培養、動物実験など、基本的な実験操作ができる。 (3) 実験計画を立案できる。 (4) 実験結果を適切に解釈し、データをまとめて発表することができる。 (5) 論文にまとめることができる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	月	13:30 - 14:30	守田 吉孝	患者検体や疾患モデル動物を用い、自己免疫疾患の病変や免疫異常を、組織病理学的、免疫生物学的、分子生物学的に解析する方法について
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
1週間ごとの実験内容報告に対し、指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9781607617198, Autoimmunity : Methods and Protocols (2nd Edition) , Andras Perl, Humana Press, 2012 ISBN-9781617794148, Bone Research Protocols : Methods in Molecular Biology (2nd Edition) , Miep H. Helfrich, et al., Humana Press, 2012				
参考書				
ISBN-9781493904037, Arthritis Research : Methods and Protocols (2nd Edition) , Shunichi Shiozawa, Humana Press, 2014 ISBN-9781588293442/9781588299185, Arthritis Research : Volume 1 /Volume 2 , Andrew P. Cope, Humana Press, 2007				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 関連する文献を事前に読み、実験方法のプロトコルをあらかじめ整理しておく。 (2) 実験直前には、約 30 分程度の予習を行う。 (3) 実験ノートを作成し、得られたデータは整理し、結果を総括するとともに、次の研究計画の概略を企画する。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
卓越した研究成果をあげ、リウマチ学・免疫学の深い学識を獲得する。				
注意事項・メッセージ				
大学院生として、リウマチ学・免疫学の勉強、実験に熱心に取り組んでください。				